

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

- 同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- 公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。
- 3.未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

Business Report

株主の皆様へ

第116期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで





創立80周年を 迎えました。 次なる成長に向けた 歩みを着実に進めて まいります。

代表取締役
社長執行役員
白石 邦記

Q 当第2四半期連結累計期間の業績についてお聞かせください。

A 当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高11,554百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益1,760百万円（同39.1%増）、経常利益1,749百万円（同23.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,121百万円（同23.9%増）と、増収増益になりました。

主力のポンプ事業の売上高は、国内市場においては、前期受注が堅調であったことから前期並みの水準を維持し、海外市場においては、前期の好調な受注を背景に中国、米国市場を中心に増加いたしました。一方、電子部品事業は自動車メーカーの系列化や工場の海外移転等の影響を受けたことに加え、人員不足等による生産性の悪化により、減少いたしました。

また利益面については、主力のポンプ事業は売上の増加に加

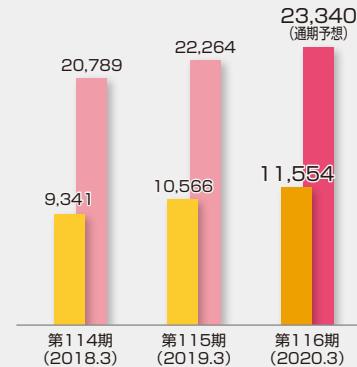
え、当社中国子会社において販売費が減少したこと等により増益となりました。一方、電子部品事業は、売上の減少及び新製品取扱いに伴う製造コストの増加等により減益となりました。

Q 今後を見据えた取り組みはありますか？

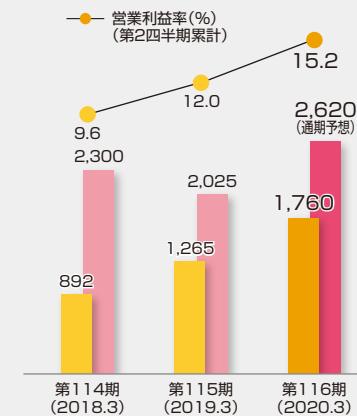
A 近年、海外の大型プロジェクト案件の増加により、大型化、仕様の複雑化（高耐圧等）したキャンドモータポンプの占める割合が増加しており、この傾向は今後も続くことが予想されます。

それによって設計・製造面では、求められるレベルが高くなっていることに加え、製品完成後の検査工程においても、長時間連続運転の性能試験を要するケースが増加しております。そこで、大型キャンドモータポンプ用の性能試験設備を増設することといたしました。これにより、検査工程での試験待ちを減らし、短

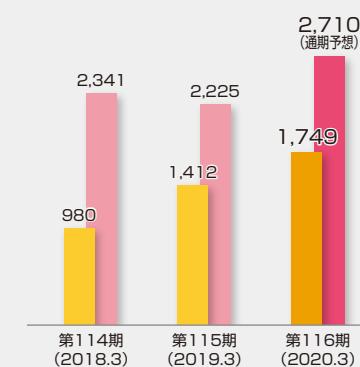
■ 売上高



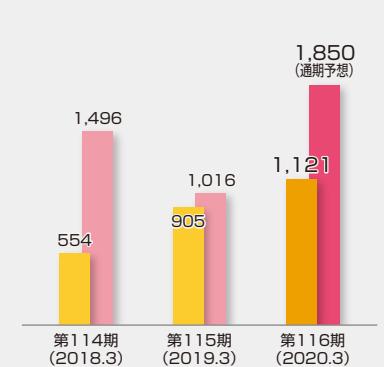
■ 営業利益 / 営業利益率



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益



■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)

(注) 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2.第115期第2四半期累計までにおける数値は、金融商品取引法に基づく過年度決算訂正を反映した数値であります。



納期化を図ってまいります。

また、当社は、ものづくりにおいては人材の育成が一番重要だと考えております。設計スタッフにおいては、若手社員を対象に設計技術力の向上を目的としたレベルアップ教育を行い、製造スタッフにおいては、多能工人材の育成、熟練スタッフから確実に技能継承するための教育訓練を行っております。会社全体では階層別の研修を実施し、横のつながりを創ることに加え、各々が求められる役割、能力、立場を理解し、より高いレベルで仕事をこなせるよう、スキルアップを図る等、未来に向けた成長基盤の構築に取り組んでおります。

Q 今後の見通しを教えてください。

A 足元の業況につきましては、中国や米国が増収であることから堅調に推移しており、今期は、期初計画通り売上高23,340百万円、営業利益2,620百万円、経常利益2,710百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,850百万円を見込んでおります。

受注につきましては、海外経済の停滞から全体としてやや一服感が始まっており、加えて米中貿易摩擦の影響による設備投資の手控えが懸念されるものの、中期的な事業環境の展望には変化はないと見ております。

地域別では国内市場は、主要顧客である石油化学メーカーが汎用品設備の統廃合や高機能製品へのシフト、及び老朽化設備の更新を進めていることから、今後も一定の需要が続くと予想しております。

海外市場についても、世界経済の成長をけん引する中国、東南アジア、インド等においては石油化学製品の需要は着実に増加傾向が続くと見ており、現地企業の設備投資計画が進んでいることから、当社の受注獲得が期待できます。また、米国ではシェールガス由来の大型プラントが順次稼働を開始していることから、

今後は当社が得意とする下流工程のプロジェクトが進展することが期待できます。

当社の成長ドライブは海外市場であることから、今後も海外事業の強化に取り組んでまいります。

Q 株主の皆様へ一言お願いいたします。

A 当社は、2019年9月12日をもって創立80周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご長年にわたる心温かいご指導ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社は、完全無漏洩構造のキャンドモータポンプを主力製品として、事業を展開してまいりました。市場に参入した当初は、何度も失敗を繰り返しながら、地道に、しかし着実に実績を積み上げてきました。このように、つねに「新たな技術」に挑戦してきたことが当社のアイデンティティであります。当社グループはこれからもさらなる技術の確立に挑戦し続け、意欲的に新たな分野へ展開してまいります。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき15円とさせていただきます。期末配当につきましては1株につき15円とさせていただきます。株主の皆様への利益還元につきましては、経営の重要課題のひとつとらえ、拡大する事業機会を迅速・確実にとらえるために必要な株主資本の水準を保持しながら、基本方針に沿った配当を継続させていただき、株主還元と成長投資のバランスを図ってまいります。

今後とも「みんなで良くなる 誠実に事に当たろう 積極的にやろう」という社是の下、全社員一丸となって事業に取り組んでまいりますので、株主の皆様には何卒変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社荏原製作所との協業について

当社は石油精製・石油化学業界での海外市場拡大を図るため、同業界向けプロセスポンプで豊富な実績を持つ株式会社荏原製作所（以下、荏原製作所という。）との協業の検討を進め、この度、同業界向けポンプ分野における技術業務提携契約を締結いたしました。本技術業務提携により、荏原製作所の石油精製・石油化学業界向けプロセスポンプにおける豊富なノウハウと、軸封装置を用いず完全無漏洩を実現する当社のキャンドモータ技術を融合し、お客様に環境負荷が小さく、安全でメンテナンス性に優れた製品を提供してまいります。

また当社は、荏原製作所の関連会社であるEBARA PUMPS SAUDI ARABIA LLC（以下、EPS社という。）との間で、サウジアラビアに納入されている当社キャンドモータポンプのメンテナンスサービス業務をEPS社に委託するメンテナンス業務委託基本契約を締結いたしました。当社は、サウジアラビアでキャンドモータポンプを多数納入していることから、同国でのメンテナンスサービスの需要拡大が予想されます。顧客から受託したメンテナンスサービス業務を同国に拠点を持つEPS社に委託することで、同国でのメンテナンスサービスのニーズに迅速に対応してまいります。

今後とも、当社と荏原製作所との長期的なパートナーシップの下、販売面等の多岐にわたる分野での協業を模索してまいります。

株主様向け工場見学会を実施

株主様向け工場見学会を開催いたしました。

《開催日》 2019年10月16日（水）

《開催場所》 当社 本社事業所（兵庫県たつの市）
多数のご応募の中から抽選で33名の皆様にご参加いただきました。当社のキャンドモータポンプ事業についてのご理解を深めていただくとともに、株主の皆様からご意見を伺う貴重な機会となりました。



特集

創立80周年を記念し、
さまざまな
イベントを行いました。

電気自動車模型の作成



かつて当社が製作していた電気自動車を、当時の設計図を基に精細な模型として復元いたしました。現在、本社事務所玄関ホールに展示しております。



JR姫路駅にて 記念広告を掲出



JR姫路駅の新幹線改札口に広告を掲出しております。姫路駅に広告を掲出することで、当社の認知度向上を図っております。

兵庫県たつの市への寄贈（児童遊具）



2019年9月、たつの市に児童遊具を寄贈するため、山本たつの市長に目録を贈呈いたしました。新宮総合支所、揖保川総合支所、たつの市はつらつセンターに設置されており、ご利用いただけます。

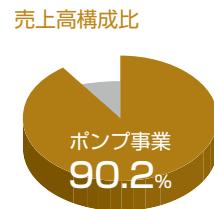
従業員家族向け 工場見学会の開催



2019年8月、従業員家族向けの工場見学会を開催いたしました。25家族・74名に参加いただき、従業員の家族の方にも当社を理解いただく良い機会となりました。

セグメント別事業の概況

ポンプ事業

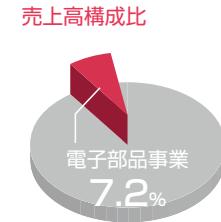
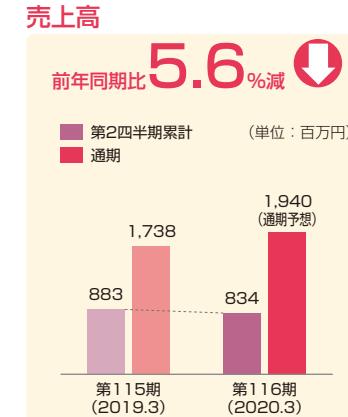


ポンプ事業の売上高は、国内市場においては、主にケミカル機器モータポンプが増加いたしました。また、中国市場でケミカル機器モータポンプ、メンテナンス関連が増加し、米国市場でケミカル機器モータポンプ、原子力関連ポンプが増加したことから、全体として堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は10,427百万円（前年同期比10.9%増）、連結売上高に占める割合は90.2%となりました。

また、営業利益は、売上の増加に加え、当社中国子会社において販売費が減少したこと等により1,850百万円（同48.0%増）となりました。

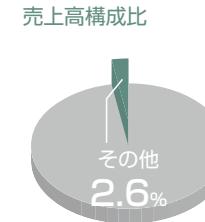
電子部品事業



電子部品事業は、売上高は834百万円(前年同期比5.6%減)、連結売上高に占める割合は7.2%となりました。

また、営業利益は、売上の減少及び新製品取扱いに伴う製造コストの増加等により、粗利率が悪化したことから143百万円の損失（前年同期は25百万円の営業損失）となりました。

その他

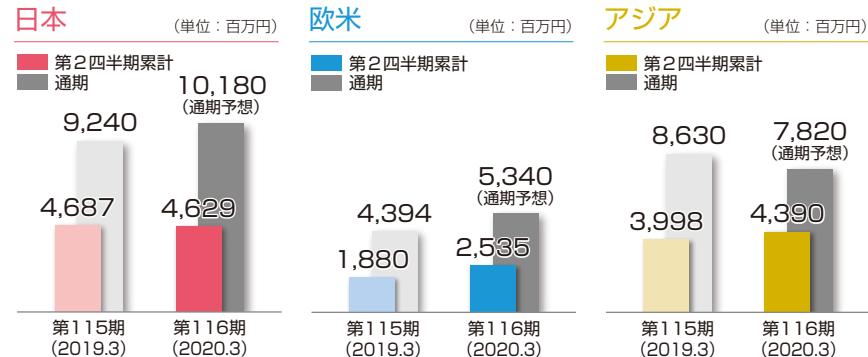
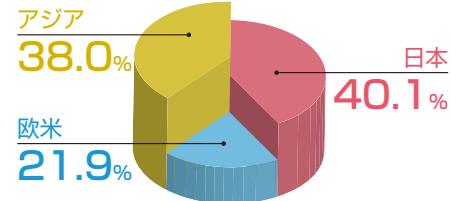


その他は、売上高は293百万円（前年同期比4.7%増）、連結売上高に占める割合は2.6%となりました。

また、営業利益は、売上の増加及び粗利率が改善したこと等により、53百万円（同29.4%増）となりました。

所在地別セグメント

所在地別売上高構成比



* 取次元を基準とした外部顧客に対する売上高

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度を考慮して決定しております。

2. 本邦以外の区分に属する国及び地域の内訳は、次のとおりであります。(1) 欧 米: 米国、ドイツ (2) アジア: 中国、台湾、シンガポール、韓国、インド

CLOSE UP

アースシネマズ姫路でCMを放映中

当社は、初の15秒CMを制作いたしました。「播州で育まれた技術が世界で活躍している」という内容を、「郷愁」というテーマで包み込んで表現しております。2019年8月から姫路市にある映画館、アースシネマズ姫路にて上映しておりますので、映画館にお立ち寄りの際は是非ご覧ください。

なお、当社ウェブサイトでもご覧いただけます。

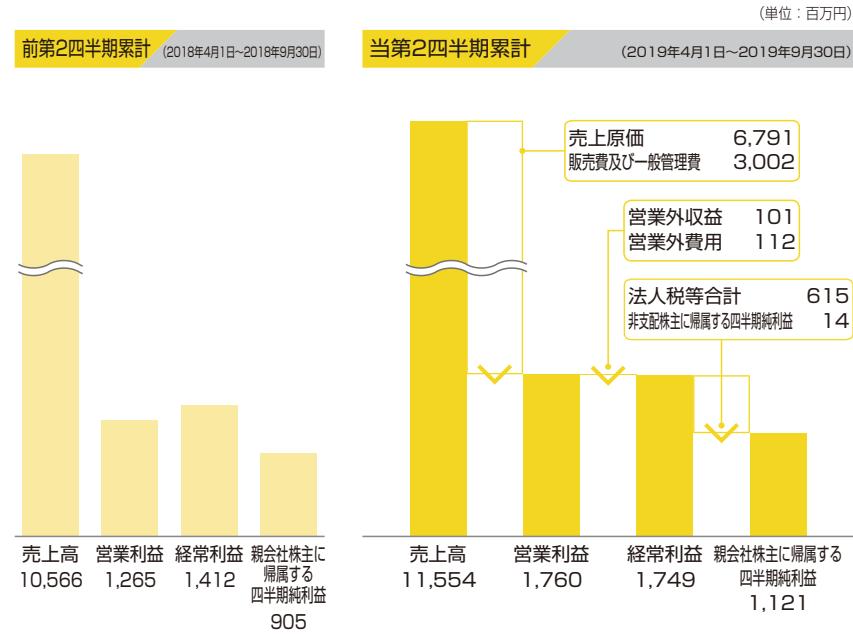
アドレスはこちら

<http://www.teikokudenki.co.jp/company/movie.html>

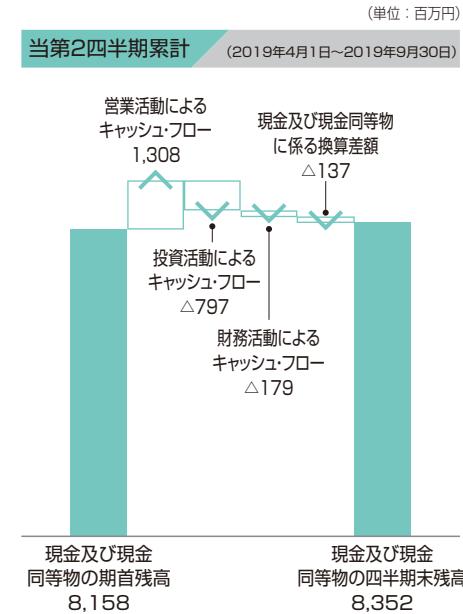


四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書



四半期連結キャッシュ・フロー計算書



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 (2019年3月31日現在)	当第2四半期末 (2019年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	22,391	22,665
固定資産	11,919	11,678
有形固定資産	8,931	8,863
無形固定資産	798	661
投資その他の資産	2,188	2,153
資産合計	34,310	34,344
負債の部		
流動負債	8,595	7,837
固定負債	900	996
負債合計	9,495	8,833
純資産の部		
株主資本	24,009	24,887
その他の包括利益累計額	691	504
非支配株主持分	114	118
純資産合計	24,814	25,510
負債純資産合計	34,310	34,344

会社情報 / 株式情報

会社概要 (2019年9月30日現在)

社名 株式会社帝国電機製作所
TEIKOKU ELECTRIC MFG. CO., LTD.
設立 1939年9月12日
資本金 31億2,349万450円
従業員数 連結 1,321名 単体 322名
本社 〒679-4395
兵庫県たつの市新宮町平野60番地
Tel. 0791-75-0411 (代表)
ホームページ <http://www.teikokudenki.co.jp/>

役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員 白石邦記 社外取締役(監査等委員) 林晃史
代表取締役副社長執行役員 中村嘉治 社外取締役(監査等委員) 川島一郎
取締役執行役員 舟橋正晴 社外取締役(監査等委員) 沖剛誠
取締役執行役員 村田潔 上席執行役員 山本憲豪
取締役(常勤監査等委員) 頃安義弘 執行役員 佐藤哲造

グループ会社 (2019年9月30日現在)

国内子会社

- 株式会社協和電機製作所
- 上月電装株式会社
- 株式会社帝伸製作所
- 株式会社平福電機製作所

海外子会社

- TEIKOKU USA INC.
- 大連帝国キャンドモータポンプ有限公司
- *台湾帝国ポンプ有限公司
- *無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司
- *済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司
- *成都大帝キャンドモータポンプ修理有限公司
- *大連大帝キャンドモータポンプ修理有限公司
- TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD.
- TEIKOKU ELECTRIC GmbH
- TEIKOKU KOREA CO.,LTD.
- HYDRODYNE TEIKOKU(INDIA)PVT.LTD.

(注)*は大連帝国キャンドモータポンプ有限公司の子会社であります。

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 69,200,000株
発行済株式の総数 20,408,138株
株主数 3,181名

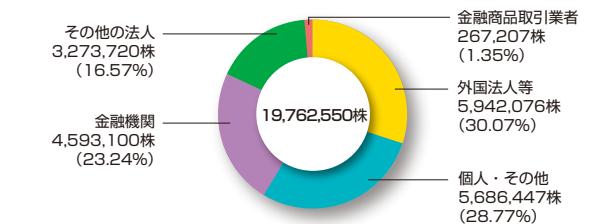
大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	2,286,400株	11.57%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,092,200株	10.59%
GOLDMAN SACHS & CO. REG	1,441,500株	7.29%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,025,800株	5.19%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	993,946株	5.03%
GOVERNMENT OF NORWAY	685,400株	3.47%
徳永 耕造	523,400株	2.65%
刈田 耕太郎	489,744株	2.48%
株式会社三井住友銀行	410,000株	2.07%
帝国電機取引先持株会	408,800株	2.07%

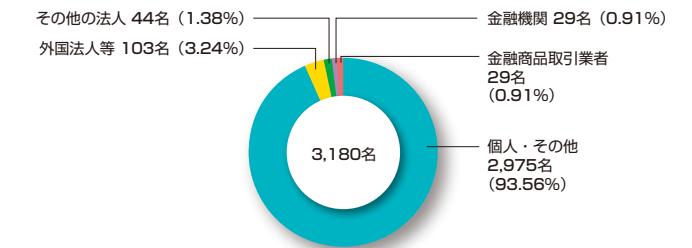
(注) 1.当社は自己株式を645,588株所有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2.持株比率は自己株式を控除して算出しております。
3.日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数には、(信託口)、(信託口1)、(信託口2)、(信託口4)、(信託口5)、(信託口6)、(信託口7)、(信託口9)の所有株式数を含めて表示しております。

株式分布状況

■所有者別株式分布状況



■所有者別株主分布状況



(注)自己株式(1名645,588株)を控除しております。